

岡山市外国人市民会議(第2期)

ニュースレター No.4

編集・発行: 岡山市市民局国際課 2008年11月発行

<http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/index.htm>



だい かい かい ぎ かい さい

～ 第4回会議を開催しました～

【開催日時】 2008年9月28日(日)午後1時から

【場所】 友好交流サロン 4階 会議室1・2

【内容】 事務局からの報告(前回からの課題を中心に)

医療について

・市民病院での受診について

・119番通報・救急車の利用について



第4回会議の様子



< 主な意見 >

事務局からの報告

・外国人の国民健康保険に加入する条件は、1年以上の在留期間が認められること、かつ外国人登録をしていることの2つを満たしている事が必要。加入にあたって選択の自由はない。加入すれば、日本人と外国人の区別なく扱いは同じである。

・在留期間1年未満の方に関しては、加入できない。ビザが1年未満であっても、1年以上の滞在が確実にわかっている場合は、申請ののち認められたら加入できる。

医療について - 市民病院での受診について

・自分が病院に行ったとき、来日したばかりで日本語ができなかったが、ポルトガル語の本が

あつて役にたつた。

- ・身振り手振りだけで医師に病状を正しく伝えることは難しく不安だ。
- ・来日して間もない外国人は、多言語対応してくれる病院を知らないから近くの病院に行く。どの病院に行ってもどの看護師、医師に対応してもらっても言葉が通じるようであればよい。
- ・言葉が通じないことで誤診につながりはないか。
- ・診断の結果が納得できず、もう一度別の病院で診察してもらった経験があるが、(自分の場合は)言葉は問題なかったが、言葉がわからない人に同じようなことがあった場合の対応は？

・生死に関わる緊急な状況で、コミュニケーションはとれているのか？現在市民病院には外国人対応のマニュアルがないようだがつくるべき。

・岡山県では医療通訳ボランティアという制度があるようだが、市民病院には提携している医療通訳はいないのか。

・市民病院の存在をしらなかつた。もっと広報したほうがよい。

・市民病院も、英語だけでなく多言語対応してほしい。

医療について - 119番通報・救急車の利用について

・たとえば火事のとて、誤つて110番通報した場合も、ボタンひとつで119番に転送されるようになればよい。

・日本人にとって外国人の名前は難しいと思うので、外国人が救急車や消防車を呼ぶ場合、たとえば診察券のようにあると便利なものはあるのか。

・市の主催で外国人市民を対象に心急手当の講座をしてほしい。

・事故にあつて救急車で搬送されたら、その先にはお金・保険の問題が出てくる。そこまで考えないといけなない。

< 第5回会議内容 >

日時：2008年12月7日(日)15時から

場所：岡山市市民病院 別館 5階会議室

協議事項：先進都市(神奈川県・川崎市)視察の報告について

医療について

・市民病院での受診について

(市民病院の受付及び診察室などを視察後、一連の手続き及び

受診時の言語の問題など)

[問合せ:事務局]

岡山市 市民局 国際課

TEL 086 - 803 - 1112

FAX 086 - 225 - 5408